

家庭でのインターネット利用

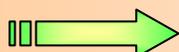
携帯電話とどのように向き合えばよいのか？

携帯電話は、いつでも、どこでも気軽に電話やメールをしたり、インターネット接続したりすることができる便利な道具です。便利な反面、危険が伴っているというのも事実です。

携帯電話の利便性ととも、影の部分についても伝えたり、教えたりするのも保護者としての大切な責任です。



携帯電話を買って...そんな子どもの声に



保護者としての考えをきちんと示していますか？

「友達が持っている。みんな持っている。」という言葉に負けて持たせるのではなく、何のために必要なのかということをはっきりさせた上で持たせることが大切です。

携帯電話は、子どもの交友関係を広げます。今まで以上に親子の会話を大切にしていけることが必要です。

携帯電話の購入に際しては、料金も含め利用時間や利用方法についての約束ごとを決めることが大切です。

携帯電話の賢い使い方について話し合う事が大切です。

「出会い系サイト」など、危険性を伴っていることについても話題にしていくことが大切です。

携帯電話の影～こんなこと知っていますか？～

携帯電話が側にないと落ち着かない子(携帯電話依存症)、携帯に支配された関係(携帯中毒)

「出会い系サイト」「架空請求」「迷惑メール」「個人情報漏洩」等の危険性や被害の現状

出会い系サイト関連事件の約 95%が携帯電話によるもの(平成 15 年度・警視庁調べ)

出会い系サイト関連事件の被害者の約 85%が、18 歳未満の児童生徒

(平成 15 年度・警視庁調べ)

携帯電話の 3 K(危険、金、心)

援助交際相手募集の書き込みをしただけでも罪になる 等



Point

我が家の携帯ルールを作ろう(ルールの一例)

食事中は電源を切り、家族の会話を大切にする。

夜遅い時間には、メールや電話をしないようにする。

公共の場(図書館、バスなど)での使い方に注意する。

携帯の利用金額の約束をつくる。 等

